

# スポーツ いいだ

SPORTS IIDA

(財)飯田市体育協会機関誌 第30号

- 発行所 / 財団法人飯田市体育協会
- 所在地 / 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534番地  
☎0265(22)4511 内線5861 ☎(53)4546
- 発行日 / 平成21年3月1日

# 30

CONTENTS

2008・ベストピックス	1
各専門委員会活動報告	2
第23回 飯田やまびこマーチ	2
各部の活動	3
飯田市スポーツ少年団紹介	3
第4回 座談会	4
応援します元気なスポーツマン	8



第63回国民体育大会「チャレンジ!おおいだ国体」10種目23名出場



北京オリンピック  
矢澤一輝さん出場



市教育委員会・競技団体  
連携協力事業、大成功!!  
体力・運動能力向上教室「めざせスポーツ万能!」

夢は、かなう。  
'08 ベストピックス



第57回県縦断駅伝チームワークの勝利!



全日本クラブソフトテニス  
選手権大会準優勝

# 専門委員会活動報告

## 総務・財務専門委員会

委員長 矢澤章弘

専門委員会としては、加盟団体の審議、各種表彰、助成金の審議、事業計画及び収支予算、体協の財源確保等、例年のように活動してまいりました。特に財源確保については、最重要課題として位置づけ、今年一年取り組んでまいりました。

特に賛助会員制度の確立に力を注いでまいりましたが、まさに世界規模の大不況の中、法人・個人合わせて多くの皆様方にご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

飯田市体協のさらなる発展の為、今後ともよろしく御願ひ申し上げます。

## スポーツ振興専門委員会

委員長 原今朝則

本委員会は、(1)総合型地域スポーツクラブの設立に向けてコーディネータ的な役割を果たし飯田モデルを創る。(2)機関紙「スポーツいいだ」の内容の創意工夫を図り充実させる。を重点として活動を展開してきた。

(1)については、中島千明専

門委員が中心となり、「飯田市総合型地域スポーツクラブ・結ネット(仮称)構想を練り上げた。

その構想をもとに、体育指導委員協議会・公民館主事会・中学校部活動あり方委員会との情報交換や協議を精力的に重ねてきた。

その中で設立に関わる様々な課題が存在することを再認識した。しかしながら、体協としては、飯田市総合型地域スポーツクラブの設立に向けて粘り強く取り組んでいく決意である。

(2)については、吉澤之栄委員の発案で体協加盟団体の代表者により座談会を四回にわたって開催し、その内容を「スポーツいいだ」に掲載した。多くの読者から好評を得ている。

座談会を通じて、競技団体の組織の活性化、指導普及等についての対策や工夫、悩みや課題など率直に語り合い、相互理解することができた。また、体協への提言・要望の中には、新体育館の建設をはじめ施設の充実を期待する声が多かった。

本委員としては来年度も精力的に活動を展開したいと考えている。

## 競技力向上専門委員会

委員長 若林裕

今年(財)飯田市体育協会に

参加している各競技団体が一つになつて事業ができたのではないのでしょうか。

飯田市の協力を得て二回開催した「体力運動能力向上教室 めざせスポーツ万能」。第一回は平成二十年九月六日(土)に、JAC O Tの事業局長菅野美津枝氏による「すべての子供が金の卵」という基調講演と順天堂大学講師の小田俊一氏が親子が一带となったコーディネーション運動、そして競技の「バレーボール」「ラグビー」には二百人を超える子供が参加。

二回目は十月四日(土)、「サッカー」「バスケットボール」にやはり二百人を超える子供の参加があり、指導者にも元オリンピック選手の杉山明美氏、元日本代表の河合シオ氏、又、元Jリーガーの石橋直希氏らぞつぞつたるメンバーの方々から、子供達に熱心なご指導を頂く事ができました。又、全競技団体にも運営にご協力を頂き、心より感謝しております。南信州新聞社を始め、飯田信用金庫などの後援又プロンプスの皆様のご協力など、各方面の皆様方の温かな御指導ご協力があつたの成功と思えます。

今後、飯田市体育協会が一つになつて進んでいく姿が見えたのではないのでしょうか。

又、第二十六回中央道沿線都市親善スポーツ大会には、飯田市教

育委員会、信濃毎日新聞社の共催を賜り、八月三日から九種目が今年も行われ、県内外より四千七百名余の選手が飯田市に集まり親睦交流を図ることができました。大会開催にあたり各競技団体にご尽力ただけたことに感謝しております。今後は三遠地方にも働きかけ、三遠地方との交流も図って

ければと思っております。今年(財)飯田市体育協会も、今までにたく充実した、又来期に向け大きくステップがふめた一年であつたと思えます。これも各競技団体のご協力、又飯田市を始め各方面の方々のご支援のお陰だと思っております。最後になりましたが心より感謝申し上げます。

「花と緑と陽光(ひかり)の中を一手つくりのおむすびを持って家族で歩こう」  
**第23回飯田やまびこマーチ**  
 Iida Yamabiko March  
 ●大会期日● 2009年4月25日(土)・26日(日)  
 ●大会会場● 中央公園(市民プール跡地)

今年度も、春のスポーツイベント「第二十三回飯田やまびこマーチ」を四月二十五日(土)〜二十六日(日)の二日間、開催します。

北は北海道から南は沖縄まで各地より、二日間延べ四、四〇〇人のウォーキング愛好者が集う大会であり、全国の十五大会の一つとして開催しています。

「南アルプスに抱かれ風光明媚・山紫水明と言つた言葉がよく合う、人情味豊かな飯田の地を堪能いただきたい」。そんな願いから、当協会も実行委員として盛り上げています。

大会テーマ「花と緑と陽光(ひかり)の中を一手つくりのおむすびを持って家族で歩こう」を掲げております。ご家族やお友達と一緒にご参加いただき、楽しい週末



をお過ごしください。大会を通じ、歩くことの習慣づくり(歩育)の推進も取り組んでいきます。

今年度は、主会場を市民プール跡地の中央公園に変更しました。また、特設テントの運営を今年度は、当協会が責任をもって取り組みます。

主催団体として、コース誘導の他、大会運営に会員の皆さんのご協力をお願いします。



# 各部

# の活動

# の活動



## バスケットボール部

江取光雄

平成二十年度のバスケットボール部の主な活動では、四月の中学校選手権大会、五月の高校選手権大会、六・七月の春期一般夜間リーグ戦、八月の高校強化リーグ戦、九月の中学校新人戦、十一月の秋期夜間リーグ戦、十二月の飯伊総合選手権大会、三月のミニバスケットボール選手権大会を

行いました。その他にも協会としては、様々な活動を行っています。平成二十一年度には飯伊総合選手権大会が五十回目を迎え、記念大会を計画しています。ひとえに飯田市体育協会をはじめ、周囲の皆様のご支援のおかげと感謝申し上げます。これからもお世話になります。よろしくお願い致します。

## 飯田ソシアルスポーツダンス協会

村松英一

現在十三サークルで会員合計三百三十名が活動しています。主な活動は、月例で第三日曜日、地域ふれあいダンスパーティーを開催しています。伊那・駒ヶ根方面からもダンス愛好者が集まり、六十名から九十名位になります。初心者からベテランまで、三十才代から八十才代まで楽しんでいます。

パーティー前の一時間を利用して、上柳里佳先生による年三回の初心者講習会があり、毎回好評です。当協会は、マナーを守り、ソシアルティ・スポーツ性を持つ社交ダンスを愛好する人達の集まりで、最新のダンス・音楽を提供しています。



## 飯田市スポーツ少年団紹介

### ポミエ新体操クラブ

橋爪 みつる

私たちの教室は、今年の春で活動十六年目を迎えます。幼児から高校生まで約九十名で、基礎・育成・選手コースに分かれて活動しています。柔軟やリズム体操、ロープ・フープ・ボール・クラブ・リボンの練習もしています。育成・選手コースは、中体連や県選手権大会などへも参加し、北信越や全国大会を目指しています。

コース別の活動ですが、年に一度全員で演技発表会を行っています。保護者会を中心にみんなで作りに上げる、愛情たっぷりの手作り発表会です。衣装作りや準備も大変ですが、会場に集まった方々み



んなが楽しめる会になっています。十一月二十二日(日) 県体育館にて第十四回発表会を開催します。で、ぜひご来場ください。

### 飯田武道館の遍歴

赤木 正剛

飯田武道館の前身は、昭和二十四年七月二十四日に故南嶋清久師範が中心となつて設立した、南信柔道連盟になります。昭和二十六年に飯田柔道連盟、昭和五十五年飯田武道館と変更しました。子供一人ひとりが努力して柔道大会で優勝した時、中学生(満十四才以上)初段に合格した時、子供達と共に喜び感動したことは忘れられません。私たちが指導者は、青少年健全育成、犯罪防止等を目的として柔道をしています。人間完成、立派な人を創ることを指導の重点にしています。将来非行少年がいなくなり、明るい社会になることを願っています。



**日時** 2月4日(水) 午後6時30分～  
**会場** 飯田市教育委員会 会議室  
**出席者** 江取光雄(バスケットボール)  
 清水俊一(バドミントン)  
 木下寿雄(野球)  
 小市宏幸(ソフトボール)  
 岡島明(ゴルフ)・正木利幸(合気道)  
 柄澤計行(生涯学習・スポーツ課振興係長)  
 北澤俊規(生涯学習・スポーツ課施設係長)  
 川井重明(副会長)・原今朝則・  
 佐野良乃・吉澤乃榮(スポーツ振興専門委員)  
 小平美恵子・塩沢恵美子(体育協会事務局)

# 第4回(最終回)座談会

## 「今、スポーツがおもしろい」

### スポーツは私を育てたかけがえのないもの

テーマ

- #### 1. 座談会の趣旨
- (1) スポーツのよさを大いにPRする。
  - (2) 飯田市体育協会のこれからを考える。
  - (3) 競技力の向上、ジュニアの育成、普及の実状を語る。
  - (4) 各競技団体の努力を伝え、中堅・若手会員の生の声を聞く。
  - (5) 紙面に新しさを出し、読者増と広報力アップを図る。

- #### 2. 話し合いの主な内容
- (1) 今、スポーツをどう楽しんでいるか。そして地域でどう活動しているのか。
  - (2) 自分の部(競技団体)の課題やジュニア育成について。
  - (3) 飯田市体協や生涯学習・スポーツ課への要望は。
  - (4) 自分にとっての〇〇〇とは。

自己紹介と「今、スポーツをどう楽しんでいるか」「地域でどう活動しているのか」

**挨拶 原委員長(司会)**  
 本日は、座談会の第四回目です。昨年、新企画としてスタートし、十九団体の皆さんと高体連・中体連の方にもご参加いただきました。今回は、六団体の代表の方と飯田市教育委員会生涯学習・スポーツ課の振興係長・施設係長のお二人にも、同席していただいています。  
 この会を通して体協にとつて明るい展望が持てるようにしていきたいです。  
**【司会】** さて、テーマは「今・ス

子が運動していません。また、土・日にスポーツをしている率も、全国平均でみると低いというデータも出ています。体力づくりの面からも皆さんの協力を得ないといけません。  
**【江取】** ジュニアに関しては、飯田の子どもたちは身体能力が低く、体格も小さいと感じます。松本で専門の測定をさせたことがありますが、筋力が弱くケガ防止のトレーニングが必要だと感じました。バスケットはミニ・中・高・一般とありますが、特にミニと中学生の育成面をはかることが、レヘルアップにつながります。月一回講習会をしていきたいところです。飯伊から県の選抜メンバーに入れるように協会全体でバックアップしていくことが活動しています。  
**【清水】** 今、バドミントン競技は「小椋・潮田ペア」のおかげもあり話題性がありますが、飯田市ではジュニア育成に関してはできていないのが現状です。学校の部活ではなく他のスポーツにとられてしまっているかと思いますが、どのスポーツに移ってもその先の礎になってくれればいいと思っています。飯伊では松川町が盛んです。また、地域や親子でやっていることが多いです。飯田では公民館活動の中で愛好者はいます。小さいクラブとしてはやっています。小さいクラブとして広がってほしいです。  
**【司会】** 確かに学校ではバドミントン部はないですね。野球のほ

ポーツがおもしろい」です。皆さんの思いを語っていただきたいと思えます。まずは、自己紹介と今皆さんがスポーツをどう楽しんでいるか、地域でどう活動しているかを聞かせてください。  
**【江取】** 飯伊バスケットボール協会の理事長と県の方では、Jリーグのチームのコーチをして15歳強化のスーパーアドバイザーをしています。三十年ほど長姫高校の外部指導者をしてきました。今年度から風越高校のほうに移って指導をしています。  
**【清水】** 市役所バドミントン部に所属し、体協の評議員をしています。飯伊バドミントン協会では会計・事務局をし、大会の企画運営面のサポートをしています。  
**【木下】** 軟式野球連盟飯田支部長と、南信連合会の副会長、県の理事をしています。今は毎週のように大会があり、忙しく飛び回っています。少年野球の指導も三十五年以上になり、喬木第二小のチームを作り指導しています。小学校一年生から六年生の混合チームですが、昨年は三勝できたので今年は期待をしています。また、昨年は登録企業の乾光精機や高森中学校野球部が全国大会に出場しました。それぞれ一回戦負けでしたが、とてもいい経験になったと思います。強化が実ってきているなど感じています。  
**【小市】** 飯伊ソフトボール協会の会長で南信の常任理事と県の広報委員長をしています。オリンピックでのメダル効果もあり、

うは部活や少年野球、早起き野球など多くの層がいると思えますが、そのあたりはどうでしょうか。  
**【木下】** 早起き野球は衰退し、今は八チームだけだと思います。今は、若い人は早朝が苦手というところもあり、入らない傾向にあると思えます。連盟では十五チームありますが、次の登録では企業チームが不況のあおりで登録できないかもしれない、との話も出ています。中学生大会は、社会人の大会が優先されてしまうので、トニーさんやJAさんに大会をお願いしています。審判は連盟でやります。ジュニアの大会では父兄が審判をすることが多いですが、そのことで選手の父兄からクレームが出ておめることもあります。ですから、中体連の大会も南信大会からはできるだけ連盟のほうで審判を派遣するように協力しています。  
**【司会】** 野球人口は減っていますか。  
**【木下】** 最近増加の傾向にあります。ただ、悲しいのは、選手が高校で佐久長聖や松商学園など強豪高校に進学して、飯田を離れてしまうことですね。これが一番の悩みです。  
**【司会】** そうですね、どの部にも関係する問題ですね。ソフトボールは、中学スポーツとしては少ないと思えますがどうですか。  
**【小市】** 私が感じることは、学校に正規の指導者が少ないことです。昨年から、宮下選手を招い

ソフトボールは今とても注目されています。オリンピック後のリーグ戦で上野投手が出場した試合では、夕方の小雨の試合にもかかわらず三千人の観衆が集まったそうです。昨年、飯田市でも日本リーグを開催しましたが、これが今年だったらもっと人が集まってくれたらと思ういます。また、飯田市で行われている信州飯田六十歳以上ソフトボール大会も、二十五回を数えました。私も、第一回大会から審判員として参加してきました。今後も長く続けていきたいです。我々も協力していきたい。  
**【司会】** 私も、昨年の女子ソフト一部リーグは観戦に行きました。とても華やかでよかったです。ぜひまた飯田によびたいですね。  
**【岡島】** 飯田アマチュアゴルフ協会の会長をしています。この協会は、平成十一年生まれのまだまだ若い会です。それ以前は、県市町村対抗ゴルフ大会に飯田市選手を送り出す会があり、そこから協会発足のために前会長若杉さんにご尽力していただきました。現在十二地区、百三十人あまりの会員がいます。市長杯や県大会の予選会、レディース、シニアの大会、地区対抗戦、研修会などがあり、参加を呼びかけています。ゴルフは、大きな三百ヤードとバットの五センチが同じ一打になるところが面白く、メンタル面がとても大きく影響するスポーツです。  
**【正木】** 私は、合気道をやっています。合気道は、唯一試合のない

ての講習会を月に一回行っています。中・高生や一般を対象にしていますので勉強になり、正規のウインドミル投法も学び、いい方向性ができたと思っています。中学校単位は父兄が中心になっていて、野球の延長線になっていて、差があまりありません。各各校を集めて合同で指導もしています。一般では、豊丘のクラブで県ベスト4に入ったチームもあり、今年はまた期待しています。また、夜間ソフト・シニアも各地区で続いています。  
 課題としては、審判員の減少に歯止めがかからないことで、苦戦しています。信州飯田の六十歳以上の大会でも飯伊の審判だけでは足りず、伊那からも審判を頼んでいます。お互いに助け合ってやっていかなければと思っています。  
**【司会】** そうですね。審判の指導者の養成や高齢化も問題ですね。  
**【江取】** バスケットでも、若手の高校生レフリーを育てようとしています。今、十三名を預かっていて、高校生の時に少しでも触れておくことで、大学に進学して審判をやってみようと思ってくれる子が増えたい。そう思うように、今のうちにきっかけづくりをしていきたい。女性が多くなっています。  
**【司会】** それはいいですね。今は女性の審判も多くなっていますから、さらに増えてくると思います。

- 指導者として長くやってきた。
- 軟式野球では、乾光精機と高森中が全国大会に出た。強化が実っているように思う。
- 大会運営もやっているし、審判員としても参加している。
- 合気道はメディア受けしないが、広めていきたい。

部の課題やジュニア育成については

**【司会】** 合気道は外国人の先生やE.L.Tの先生に人気があると聞いています。ありがとうございました。正木さんのお話にもありましたが、皆さんの部の課題やジュニア育成についてお話しただけだと思えます。  
 私も仕事の関係で全国の小五と中二を対象とした体力測定の日々を見ましたが、上体そらしや敏捷性が飯田は低いというデータが出ていました。握力は高いですが、背筋・腹筋が低い。今の中学生女子の部活動に入っでスポーツをしている子どもは、三十%と低いです。五十%の女

**【小市】** ソフトボールも松川に女性審判がいます。自信をつけさせるように、全国大会は女性を最優先でやらせています。  
**【岡島】** ゴルフは、資金面で最初のハードルが高いと思います。練習場で二、三千円、コースへ出れば小一万円です。今は、景気も悪く練習場も公的な場所がなく、グラウンドや河川敷で練習ができないので、地域や学校での育成につながらないのだと思います。今活躍している若い選手は、小さい頃から親が力を入れていて協力してやってきたことが大きな要因です。二〇〇七年から、県でジュニア育成に力を入れ始めました。ジュニア選手権も開きました。諏訪湖カントリーが熱心です。  
 六十代からのシニア層は増えていますが、四十歳くらいの若手が減ってきているのも資金的な面が大きく影響していると思えます。





【司会】 そうですね。定年を過ぎて余裕のある方が支えているスポーツですね。

【岡島】 ゴルフは必ずハンディがありますので、若い方から年配の方まで集まっても一緒にまわれるのがいいことで、生涯スポーツになっていっていると思います。幅広い年齢の方と一緒にやることで、私も若い頃にはマナーから教えてもらいました。スコアは自主申告ですから、そこがまたいい。正直に言う。マナー・ルールを大事にする。ジュニアを育てていく。たくましさ、がまん強さを教える。

【司会】 貴重なお話をありがとうございます。ゴルフの特色ですね。

【正木】 合気道は子どもには少し難しく、面白みは少ないスポーツだと思えますが、中には体操感覚で子どもたちに指導している方もいます。きちんとした人は邪道だと言いますが。

個人的には、子どもたちの体力面であまり過剰になり過ぎないようにと思います。私は大学で水球をやっていて、この競技

もマイナーなスポーツで部員集めに同級生に声をかける機会がありました。が、その時の反応は、今までしつかりやってきたので大学では競技スポーツはやりたくないという声が多かったです。高校まででやり過ぎて、燃え尽きてしまつ子が多いと思います。学生時代にはスポーツはそんなにしていなくても、社会人になってから、二十才、三十才になつてから始めて、生涯スポーツを見つけないことも大事だと思います。

【司会】 そうですね。正木さんの言われたことは、大事なことだと思えます。高校で燃え尽きてしまつたり、早ければ中学や小学校で燃え尽きてしまつたりする子どもも出てきていますから、ひとり一人にあった指導方法が必要ですね。

●飯田の子は、体力測定の日々では低いものもある。体力づくりも必要である。中学生女子の運動離れがある。

●ジュニア育成が十分ではない。有望な中学生が、強豪高校へ進学し、地元を離れてしまつことが、一番の悩み。

●学校に正規の指導者が少ない。審判員の減少と高齢化も問題だ。

●やり過ぎて燃えつきてしまつ子もいる。個人に合った指導法が必要だ。



### 「体協や生涯学習・スポーツ課への要望を」

【司会】 では、体協や生涯学習・スポーツ課への要望をお聞かせください。フリートークングでどうぞ。

【江取】 室内スポーツでは、設備の整った体育館がなく、子どもたちにいい試合を体感させてあげられないのが残念です。ソフトボールで昨年県営球場に1部リーグを呼んで盛況だったと聞いて、バスケットでも私が現役のうちにリーグをよんであげたいと思っています。

二十人入らないと難しいということなので、大きい体育館が必要で、県の体育館は駐車場が狭く、体育館用には十数台分しかありません。大会では毎回苦慮しています。近くに公民館

の大きな駐車場があるので、少しでも使用させてもらえるように努力してほしいです。

【清水】 施設面では、松尾の体育館で大会をやらせてもらっています。特に問題はありませんでした。昨年のイベントのコーディネートは、基礎能力や体力づくりのよいきっかけになったと思うので、子どもたちがどのスポーツでも楽しみながらできるように次につなげていってほしいです。

【司会】 総合型地域スポーツクラブが立ち上がるいいですね。今は、スポーツの偏りがあり、サッカーばかりをやっている野球の球が投げられない子どもが多かったりしますね。だから、大人も子どもも遊べたり、いろいろな種目ができたりするとい

【江取】 昔は、何でもこなして野山を駆けたり、チャンバラをしたりしてバランス感覚があったと思います。

【木下】 野球部では、県営球場の早朝の開場時間を早めてほしいです。管理人さんには面会してもらっていますが、八時の開会式で開場が七時半では選手のアップの時間がとれません。県外の選手などは実際には五時、六時に来ていて、外周でアップしてもらっています。高体連・中体連も関係していることです。早朝料金を払ってでもお願いしたいです。

【小市】 ソフトボールも早く開けてほしいです。

### 感想と「私にとっての○○○とは」

【司会】 ありがとうございます。では、最後に、今日の感想と「私にとっての○○○とは」について、お話しください。まずは私から。「私にとってのバレーボールとは」、中学から始めて教員クラブや部活の顧問になり、子どもたちとともに泣き笑いできました。体育協会にも入れていただきました。役員や仲間との出会いで多くのことを学び、「誇りと自信」になっています。一言でいえば「人生の宝物」です。

【江取】 私は背が高くなるからと中学から始め、高校・大学と続けました。自分の地域の子どもたちを教える人がいない中で、自分ができることはないかと指導を始め、レフリーや指導をする中で子どもたちを見ていくことが好きになりました。三十年以上外部指導者をして全国を飛びまわってきました。そこで人脈や仲間ができたことが、私の礎になりました。子どもたちには、勝つことではなく、みんなを愛することができ、愛されるチームをつくらうと教えていきたいです。

【清水】 大学からバドミントンを始めました。高校までは野球をやっていました。楽しみながら健康づくりをしています。競技面ではハードな面もありますが、シニアもやっています。六十才

代のプレーヤーもいますので、スポーツの魅力でしょうか。今後も楽しむこと、競技力向上面でも携わっていきたいです。

【木下】 私は中学から野球を始め、四十一年以上続けてきました。高校では、佐野先生に教えられました。一学年下が甲子園に出場したりして、周りにも野球関係者が多いです。おかげさまで今日があり、人脈ができました。今も友好的なつきあひがあり、当時の対戦相手にも声をかけてもらえたりしています。全国大会出場チームが出ると思えないといけません、喜んで出します。

【小市】 私は当時の職場がソフトボールが盛んな伊那にあり、始めました。選手生活は短かったですが、転勤前に審判の資格を取り、飯田に戻っても続けてきました。県大会や国体の審判をやらせてもらい、そのことで女子ソフトボールの有名選手と話ができ、顔を覚えてもらいあいさつをしてもらえることがうれいんです。体力が続く限り続けていききたいです。

【岡島】 ゴルフを始めて三十七年になり、かけがえのないものです。盛んなときには暇さえあれば練習に行っていました。一回一回が目覚めの時です。ゴルフは、私の人格をつくってくれました。その日に居合わせた人と一日ホールを回ることがありますが、最初に握手を交わし一緒に食事をとり、一日が終わる頃には旧年来の友のような仲にな

れます。また終わる頃には、その人の性格もわかっておもしろいです。

【正木】 私は合気道を始めて四年目になります。他人との競いあいがないので、精神的にも心地いいです。合気道だけに限らず、冬はスキーをしたり夏はいろいろなスポーツを楽しんだりしています。仕事もスポーツ関係なので、今後も自分にあつたスポーツを度を越さないようにやりたいです。度を越すことはいけません。合気道も生涯スポーツとして長く続け、普及活動もしていきたいです。

●役員や仲間との出会いで多くのことを学び「誇りと自信」になっている。「人生の宝物」である。

●仲間や人脈ができ、私の礎になった。それで今日の自分がある。かけがえのないものである。

●今後も楽しみ、生涯スポーツとして長く続けていく。

「スポーツ課係長・体協役員の感想と気づいたことを」

【司会】 ありがとうございます。皆さん今後も楽しくスポーツとつき合っていてください。終わりにあたって、今日この会に参加いただきました。生涯学習・

スポーツ課係長さん、そして体協の役員さんに、それぞれ感想やお気づきの点を聞かせていただきたいと思っています。

【柄澤振興係長】 自身は、学生の頃卓球を、中学ではバレーをやっていました。今は、仕事が忙しくてほとんどやっています。一回以上のスポーツをする率を五十%に引き上げることを目標にしています。今は運動をしている人としていない人の偏りがありますので、底辺の拡大に努めていきたいです。

体育協会の皆さんには、専門種目の知識の分野などで力を貸していただきたいと思えますので、よろしく願います。

【北澤施設係長】 先ほどの皆さんのお話を聞かせていただいて、施設の充実の要望がありました。今の施設は昭和五十年代の建設で、今の状況に対応しきれません。県体育館の話がありました。身近な施設の充実とケアを心がけていきたい。県営の施設についても県と相談してやっていきたい。飯田市の社会体育施設は年間五十三万人の利用があります。多くの方に利用していただいています。新たな利用者が施設を利用するまでプロセスづくりをしていきたいと思っています。

今日は貴重な話を聞かせていただきましたので、今後の参考にしていきたいと思えます。ありがとうございます。

【川井副会長】 今、体協として県

宮の体育館の誘致の話が出ていますが、加盟団体の使用施設の充実を、飯田体育協会の全員で声を大にして進めていきたいと思えます。飯田市内・郡市の学校施設や学校統合後の空き施設の有効利用も話しに出てきているので、体協でも応援していきたいと思えます。講演会、教室もさらに充実させ、県縦断駅伝等も応援したいです。指導者の皆さんとも力を合わせてやっていきたいです。

【佐野委員】 今日は貴重なお話を聞かせていただいて、ありがとうございます。今後の体協に生かしていきたいと思えます。

【吉澤委員】 ありがとうございます。私自身も学生時代から硬式テニスを始め、中学教員時代には、ソフトテニス部の顧問を務めた子どもたちが、中体連の個人戦で全国優勝しました。これは部活動ががんばってやって



きたことへの神様のご褒美だと思えました。今でも現役で県大会1勝を目標にがんばっています。テニスコートや体育館施設の充実が早期実現するように声をかけ合い、必要なら自分たちでお金も一部負担していくことが大切だと思います。飯田テニス協会は、わずかですが基金を積み立てて四年になります。私も会長として積み立てており、コート大改修の時には出したいと思えます。

【司会】 今日は斬新なお話を伺った。伝統を大事にした活動をされていることがわかりました。高齢化・若手育成・施設の充実など課題も多く出されましたが、皆さんがスポーツを楽しんでいることが伝わってきました。最後の座談会でしたが、スポーツ行政に生かしていきます。今後、一歩一歩実現に向けて進んでいきたいと思えます。ありがとうございます。

●底辺の拡大に努めていきたい。体協の皆さんには、専門分野で力を貸してほしい。

●身近な施設の充実とケアを心がけたい。

●施設の充実を体協の全員で進めていきたい。講演会・教室もさらに向上させていく。

●必要な、受益者で経費も一部負担していきたい。

# 応援します元気なスポーツマン

## (財)飯田市体育協会賛助会

平成20年度 賛助会員の皆さまご支援ありがとうございます。厚く御礼申し上げます。(順不同敬称略)  
平成20年4月1日～平成21年3月 現在

### 法人会員

飯田市金融団  
株式会社天龍  
株式会社平安  
株式会社南信州観光公社  
有限会社牧野工業  
株式会社平田商會  
株式会社キラヤチ  
株式会社ミヤウチ  
飯田自動車株式会社  
株式会社お菓子のシアワセド  
株式会社清信建設興業  
株式会社マスト  
伊賀良建設株式会社  
元善光寺  
トヨタホーム信州株式会社  
シチズン平和時計株式会社  
安平建設株式会社  
オムロン飯田株式会社  
みなみ信州農業協同組合  
天恵製菓株式会社  
綿藤トキワフーズ株式会社  
東陽興業株式会社  
神稲建設株式会社  
株式会社丸宝計器  
小林製袋産業株式会社  
第一公害プラント株式会社  
株式会社ホンダカーズ信州飯田中央店  
有限会社ツノダ  
有限会社小作商會  
綿半ホールディングス株式会社  
米山建設有限会社  
株式会社アイスク

有限会社小木曾グリーンターフ  
マルマン株式会社  
山崎建設株式会社  
株式会社いとう  
NTT東日本長野飯田支店  
有限会社キング堂  
小池建設株式会社  
株式会社工ヌ・イ  
文吾林造園株式会社  
喜久水酒造株式会社  
吉川建設株式会社  
株式会社トライネット  
株式会社さわむらや  
信州日報株式会社

久保田 和 宏  
佐野 良 乃  
今村 昌 士  
飯伊弓友会 鼎支部  
伊 坪 眞  
小林 亮 夫  
大 島 淑 子  
小 池 智 津  
北 村 多 美 子  
小 林 範 次  
長 坂 敏 子  
木 村 匡 房

### 競技団体

飯伊卓球連盟  
飯田ソフトテニス協会  
飯田武術太極拳協会  
飯田地区剣道連盟  
飯田テニス協会  
飯田サッカー協会  
長野県ゲートボール連盟飯田支部  
飯伊バスケットボール協会  
長野県アーチェリー協会飯田支部  
飯田市体協バドミントン部  
飯田ソーシャルスポーツダンス協会  
飯田水泳協会  
飯田ラグビーフットボール協会  
飯田市中心合気会  
(社)日本空手協会飯田支部  
飯田アマチュアゴルフ協会  
長野県軟式野球連盟飯田支部  
飯伊家庭婦人バレーボール連盟  
飯田市マレットゴルフ協会  
飯伊陸上競技協会  
飯田山岳会  
柔道部  
飯伊弓友会  
飯伊バレーボール協会  
飯田スキー協会  
飯田ソフトボール協会

### 個人会員

村松 康 尾  
飯伊弓友会 松尾支部  
宮 島 一  
福 島 毅  
三 石 邦 英  
吉 澤 之 榮  
小 松 哲  
土 屋 州 平  
谷 道 七 郎  
原 今朝 則  
常 盤 三 男  
中 島 衛  
後 藤 正 紀  
土 屋 章 尋  
矢 島 秀 次  
中 島 啓  
矢 澤 章 弘  
伊 藤 晋  
大 竹 寿  
酒 井 譽  
吉 川 敏 一  
若 林 裕  
石 原 稔  
庄 司 勉  
北 原 良 美  
篠 田 健  
北 沢 豊 治  
後 藤 幸 一  
田 中 進  
川 上 禧 禮  
伊 坪 眞  
川 井 重 明  
松 下 善 彦  
松 尾 豊

## 編集後記

「今、スポーツがおもしろい」を、強く感じた二十年度でした。また、市体協会員のスポーツにかける意気込みと団結力を証明した年度でした。

四回の座談会では、二十六競技団体と中体連・高体連の現役の代表者が出席し、熱い思いをスバツと語ってくださった。市体協として大事に受けとめました。所属競技団体のために、命がけて活動してくださっています。感謝です。「私にとつての〇〇〇とは」で、「宝物・生きがい・自分を育てたもの」と、言い切るところがすごい。

矢澤一輝さんのカヌーでのオリンピック出場、全日本クラブソフトテニス選手権大会準優勝、梶断駅伝優勝、飯田高ラグビー班花園出場は、忘れられません。精進あればこそでした。同時に、「夢はかなう」を実感しました。「体力・運動能力向上教室 めざせスポーツ万能!」のイベントも、大成功でした。

飯田市の活性化と市民の健康は、スポーツからです。

(吉澤 記)